World Platinum Investment Council

PRESS RELEASE

英ロンドン、**2025** 年 **11** 月 **19** 日 **06:00**

プラチナの **2025** 年需給は **22** トンの供給不足となる見通し
関税への懸念が緩和すれば、**2026** 年のプラチナ需給バランスが改善する可能性

2025 年通年予測：主な要因

- プラチナ市場は 3 年連続で大幅な供給不足、不足予想は 22 トン
- 供給は依然として制約され、2025 年は前年比 2%減の 222 トン
- 2025 年の自動車需要は、過去 5 年間の平均を 10%上回ると予想
- 2025 年の宝飾品需要は、中国における上半期の急増が主因となり、7%増の 67 トンに達する見込み
- 中国における需要急増が牽引し、2025 年の地金・コイン投資は前年比 47%増を記録する見込み

2026 年予測：主な考察

- プラチナ市場は 2026 年に均衡を取り戻し、0.6 トンの供給余剰が予測される
- 関税への懸念の緩和、取引所在庫から 5 トンの流出予想、プラチナ価格の上昇を受けた上場投資信託（ETF）からの 5 トンの利益確定売りを想定

*ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの **Trevor Raymond**（トレヴァー・レイモンド）**CEO** によるコメント：*

「2025 年のプラチナ市場の大幅な供給不足は、貿易摩擦に関連した投資フローによって拍車がかかりました。世界情勢の極度の不確実性が依然として続く中で、2026 年に市場の均衡という現在の予測は、貿易摩擦の緩和を想定したものです。こうした緊張が続く場合は、2026 年もプラチナの供給が需要に追い付かない可能性が高いでしょう。」

*「ロンドン市場において、リース料率が極めて高水準に**あることやオーバー・ザー・カウンター先渡し取引が**大幅な**バックわーデーション**になっていることに示されるように、プラチナ市場は依然として逼迫しています。2025 年の大幅な価格上昇で金属の市場流入が促されたにもかかわらず、この需給逼迫は続いています。このことは、継続的な供給不足の解消にはさらなる価格上昇が必要であることを示唆しています。価格上昇にもかかわらず、ETF **の売却**は**今年の**市場逼迫を緩和することはなく、10 月末の ETF 残高は純増となりました。2026 年も市場の逼迫と価格上昇が続けば、ETF 保有者にとって保有高を減らすよりも増やすインセンティブがさらに高まる可能性があります。」*

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル（WPIC®）は本日、2025 年第 3 四半期の *Platinum Quarterly* を発行しました。この中で、2025 年通年予測が修正され、2026 年の予測が初めて発表されました。

2025 年のプラチナ市場は 3 年連続で通年の大幅な不足（22 トン）を記録すると予想され、前回予想から 5 トン下方修正されました。主に鉱山供給とリサイクル供給が増加すると予想されているためです。

2025 年の総供給量は、前年比 2%減の 222 トンと 5 年ぶりの低水準となる見込みです。鉱山供給も 5%減の 171 トンで、過去 5 年間で最低となります。2025 年の総需要見通しは 243 トンで、前年比 13 トン減となりますが、これは主に大規模で循環的なガラス生産能力の拡大が今年は見られなかったためです。

2026 年のプラチナ市場は 0.6 トンの小幅余剰となり、均衡すると予測されています。リサイクル供給のさらなる増加に伴い、総供給量は前年比 4%増の 230 トンに増加すると予測されています。鉱山供給は 2%増の 175 トンとなる見込みです。総需要は前年比 6%減（14 トン減）の 230 トンになると見込まれます。この減少の主な要因は、地金・コイン以外の投資需要における合計 17 トンの変動です。これは、関税関連の不確実性の緩和や、一部の上場投資信託（ETF）投資家による利益確定売りにより、高水準だった CME 指定倉庫の在庫が取り崩されるためです。

鉱山供給は依然低調

2025 年の通年鉱山供給量は、前年比 5%減の 171 トンとなる見込みで、これはコロナ禍以前の 5 年間の平均を 19 トン（10%）下回る水準です。2026 年には、世界の鉱山供給は 2%増の 175 トンになると予想されています。

前期比では、世界のリサイクル供給の回復は 2025 年第 3 四半期に一時的に停滞し、7%減少しました。これは米国の関税上の使用済み触媒の品目コード分類をめぐる混乱が一因です。前年比では、2025 年第 3 四半期のリサイクル供給は 8%増の 12 トンとなりました。2025 年通年のリサイクル供給は、前年比 7%増（3 トン増）の 50 トンになると予想されています。これは、白金族金属（PGM）バスケット価格の上昇が、特に中国において、使用済み自動車触媒材のフローと宝飾品リサイクルの増加を後押しするためです。こうした傾向は、2026 年のリサイクル供給のさらなる成長を下支えするとみられ、10%増（5 トン増）の 55 トンに達する見込みです。

全体として、2025 年の総供給量は 2%（5 トン）減少し、222 トンとなる見通しです。2026 年の総供給量は、主にリサイクル供給の増加を背景に、4%増（9 トン増）の 230 トンになると予想されています。

2025 年の自動車需要は、過去 5 年間の平均を上回る

2025 年通年の自動車需要は、小型車・大型車の両セグメントで触媒搭載車（内燃機関およびハイブリッドのパワートレイン車）の需要が減少するため、3%減（3 トン減）の 94 トンとなる見通しです。それでもなお、自動車需要は過去 5 年間の平均を 10%（8 トン）上回るでしょう。2026 年の自動車需要は、小型車の生産台数減少とエンジンサイズの小型化により 3%減（3 トン減）の 91 トンとなると予想されています。これは、堅調な大型車需要とオフロード車両向け触媒需要の増加によって一部相殺されます。

産業需要の回復

2025 年通年の産業需要は、前年比 22%減少し、59 トンになると予想されています。これは主に、2024 年に過去最高を記録したガラス需要が循環的に減少し、74%減の 6 トンになると見込まれるためです。化学部門の需要は 8%減の 18 トンとなる見込みですが、これは石油（14%増の 6 トン）、水素（20%増の 2 トン）、医療（4%増の 10 トン）、電子機器（2%増の 3 トン）の各部門における需要増を相殺します。

2026 年の産業需要は、主に化学部門の需要回復とガラス部門での新規生産能力増強の再開により、成長を回復し、9%増（5 トン増）の 65 トンとなると予想されています。

2025 年の宝飾品需要は、7 年ぶり高水準に達する見込み
2025 年の宝飾品需要は、前年比 7%増の 67 トン、2018 年以来の高水準に達すると予想されています。これは、金に対するプラチナの割安感から、プラチナが金宝飾品から引き続きシェアを奪っていることで、大半の市場で需要が伸びるためです。

中国では、今年上半期の卸売業者による在庫積み増しの急増を受けて、通年需要は 44%増の 18 トンと、例外的に力強い伸びが見込まれています。北米の需要は 15 トン（5%増）に達すると予想されています。欧州では 5 年連続の成長が見込まれ、6%増の 11 トンとなる見込みです。日本では 3%増の 12 トンとなる見通しです。インドでは、米国の関税がプラチナ宝飾品の輸出需要に悪影響を及ぼしているため、市場は逆風に直面しています。インドでの需要は 30%減の 6 トンと予想されていますが、それでも年間需要量は史上 4 番目の高水準です。

2026 年予想では、宝飾品需要は 6%減の 63 トンです 。中国では、基調としては成長傾向であるとはいえ、前年比 14%の減少が予想されています。ただし、これは 2025 年上半期に見られた一時的かつ例外的に高水準の在庫積み増しにより、減少幅が過大に見えるためです。北米では 1%の成長が見込まれます。プラチナ宝飾品の絶対的コストは、上昇する見通しであるものの、金に対するプラチナの割安感が、引き続きプラチナ宝飾品を下支えするためです。欧州の需要は横ばいが予想され、インドでは厳しい状況が続くため、需要は前年比 15%減が予想されます。

中国、2025 年の地金・コイン投資需要の急増を牽引
2025 年第 3 四半期には、関税関連の不確実性の再燃を背景に、取引所保有在庫が 11 トン増加し、ETF からの 5 トンの流出を相殺しました（投資家はプラチナ価格の上昇を受けて利益を確定しましたが、これは 2025 年第 4 四半期に純流入に転じました）。一方、中国における地金・コインの総需要は前年比 64%増と引き続き増加しましたが、他の市場の低迷を相殺するには至りませんでした。特に北米や欧州では、プラチナのリース料率が高いことが在庫の確保を圧迫し続け、新商品の製造が採算に合わない状況が続いています。その結果、地金・コインの総需要は前年比 2%増の小幅な伸び（3 トン）にとどまりました。

2025 年通年の総投資需要は、6%増の 23 トンになると予想されています。地金・コインの総需要は、中国が牽引役（13 トンに達する見込み）となり、前年比 47%増（5 トン増）となり、4 年ぶり高水準の 16 トンに達すると予想されています。プラチナ ETF 保有量は 2 トン増加すると予想されますが、この背景には、最近の価格ブレイクアウト後のセンチメントの改善、堅調なファンダメンタルズ、金に対するプラチナの持続的な割安感があります。第 3 四半期末から年末にかけて、関税に関連するセンチメントの改善を受けて取引所在庫が純流出となり、その結果、2025 年通年の純流入量は 5 トンまで減少すると予想されます。

2026 年の投資需要は、52%減の 11 トンに減少すると予測されています。これは、関税関連の不確実性が緩和して在庫が正常化し、取引所在庫から 5 トン流出するとの想定に基づいています。さらに、投資家が 10 年ぶり高値となるプラチナ価格で利益確定売りを行うとの想定に基づき、ETF の売却も予想されており、これがさらに 5 トンの流出につながる見込みです。2026 年の地金・コイン投資総額は 30%増（5 トン増）の 21 トンとなり、6 年ぶりの高水準に達すると予想されています。日本と北米を中心に、すべての主要市場で需要が増加すると予想されます。

プラチナ需給バランス（トン）	2022	2023	2024	2025f	2026f	2025年予想／2024年成長率（%）	2026年予想／2025年予想成長率（%）	2024年第3四半期	2025年第2四半期	2025年第3四半期
供給										
製錬高	**172**	**174**	**180**	**171**	**175**	**-5%**	**2%**	**45**	**45**	**44**
南アフリカ	122	123	129	123	126	-5%	3%	33	32	32
ジンバブエ	15	16	16	15	16	-4%	5%	4	4	4
北米	8	9	8	6	6	-24%	-8%	2	2	2
ロシア	21	21	21	21	21	-1%	-1%	5	5	5
その他	6	6	6	6	6	4%	-1%	1	2	2
生産者製品在庫における増減（+/-）	1	0	0	0	0	-100%	N/A	-1	+1	+0
鉱山からの総供給量	**173**	**175**	**180**	**171**	**175**	**-5%**	**2%**	**45**	**46**	**44**
リサイクル	**56**	**47**	**47**	**50**	**55**	**7%**	**10%**	**11**	**13**	**12**
自動車触媒	43	35	36	37	41	5%	10%	9	10	9
宝飾品	12	10	9	11	12	14%	10%	2	3	3
工業	2	2	2	3	3	7%	8%	1	1	1
総供給量	**229**	**222**	**227**	**222**	**230**	**-2%**	**4%**	**56**	**59**	**56**
需要										
自動車	**86**	**100**	**97**	**94**	**91**	**-3%**	**-3%**	**23**	**24**	**22**
自動車触媒	86	100	97	94	91	-3%	-3%	23	24	22
ノンロード	†	†	†	†	†	N/A	N/A	†	†	†
宝飾品	**58**	**58**	**62**	**67**	**63**	**7%**	**-6%**	**15**	**21**	**15**
工業	**67**	**74**	**75**	**59**	**65**	**-22%**	**9%**	**17**	**16**	**16**
化学	21	26	19	18	20	-8%	10%	4	5	4
石油	6	5	5	6	5	14%	-15%	1	1	1
電気	3	3	3	3	3	2%	-1%	1	1	1
ガラス	14	15	22	6	9	-74%	66%	4	3	3
医療	9	9	10	10	10	4%	4%	2	2	3
定置型水素など	0	1	1	2	2	20%	36%	0.4	0.4	0.4
その他	15	15	16	16	16	0%	-1%	4	4	4
投資	**-16**	**12**	**22**	**23**	**11**	**6%**	**-52%**	**-7**	**-2**	**9**
地金およびコインの増減	8	10	6	10	14	73%	37%	2	3	2
中国における500g以上の地金	3	4	5	6	7	15%	16%	1	1	1
ETF保有高の増減	-17	-2	9	2	-5	-76%	N/A	-9	3	-5
取引所在庫の増減	-10	0	2	5	-5	200%	N/A	-1	-10	11
総需要	**196**	**244**	**256**	**243**	**230**	**-5%**	**-6%**	**48**	**59**	**62**
合計	**34**	**-22**	**-29**	**-22**	**1**	**N/A**	**N/A**	**8**	**0**	**-6**
地上在庫	****172**	**150**	**121**	**99**	**100**	**-18%**	**1%**			

出典: Metals Focus 2022 - 2026 年予想
注記：

1. ** 2018 年 12 月 31 日現在の地上在庫 114 トン（Metals Focus）
2. † ノンロード自動車需要は、自動車触媒需要に含まれる

-以上-

メディア関連のお問い合わせ先：**Elephant Communications:**
wpic@elephantcommunications.co.uk

編集者への注記：

Platinum Quarterly について
Platinum Quarterly は世界のプラチナ市場を四半期毎に分析するもので、独立した立場で作成され、無料で提供される業界初のレポートです。『*Platinum Quarterly*』は、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの出版物です。WPIC が委託し、白金族金属市場の権威あ

る独立機関である Metals Focus が実施した調査と詳細な分析に主に基づいて作成されています。

World Platinum Investment Council（WPIC®、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル）について
ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル（WPIC）は、現物プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する投資家の方々の強いご要望を受けて設立されました。WPIC の使命は、行動可能な見識と目標を定めた商品開発を通じて、現物プラチナに対する世界の投資需要を喚起することにあります。WPIC は、南アフリカの主要プラチナ生産者によって 2014 年に設立されました。WPIC の加盟会社は、Valterra Platinum、Implats、Northam Platinum、Sedibelo Platinum、Tharisa、Bravo Mining and Podium Minerals です。

詳細は、ウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください

WPIC ロンドン事務局：World Platinum Investment Council, Foxglove House, 166 Piccadilly, London, W1J 9EF

WPIC 上海事務所：World Platinum Investment Council, Unit 1612, Shui On Plaza, No. 333 Middle Huaihai Road, Huangpu District, Shanghai, P.R.China

Metals Focus について
Metals Focus は、世界の大手貴金属コンサルティング会社の 1 つで、世界の金、銀、白金族金属（PGM）市場の調査を専門とし、定期的なレポート、予測、特注のコンサルティングを行っています。Metals Focus チームは 8 つの法域に分散し、世界中の多数の情報源を網羅しています。これを活かし、Metals Focus は、貴金属市場に関する世界レベルの統計、分析、予測を提供することに特化しています。

詳細情報は、ウェブサイト www.metalsfocus.com をご覧ください。

プラチナについて
プラチナは世界で最も希少な金属の 1 つで、独特の物性を持つため、様々な需要分野において高く評価されています。プラチナ特有の物性および触媒活性は、工業利用においてその価値を確立しています。同時に、貴金属としての独自の特質を持つため、高級宝飾品にも使用されています。

プラチナには、主に鉱山での生産とリサイクルの 2 つの供給源があります。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルによるものが主流です。過去 5 年間の年間プラチナ総供給量（精製済みオンス）の 72%～79%は、鉱山で生産されたものです。

世界のプラチナ需要は堅調で、ますます多様化しています。プラチナ需要の主要分野は、自動車、工業、宝飾、投資の 4 つです。

自動車触媒における過去 5 年間のプラチナ需要は、総需要量の 29%から 42%の間を推移しています。自動車以外の工業分野におけるプラチナの多様な使用は、世界総需要量の 32%となっています（過去 5 年間の平均）。同様に、宝飾品における世界の年間総需要は、 プラチナ総需要の平均 26%を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も変動が大きく、過去 5 年間は総需要の-8%から 21%を占めています（投資家が保有する未公表の保有残高の変動を除く）。

免責事項

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルおよび Metals Focus のいずれも、投資に関する助言を提供するための規制機関による許可を受けていません。本書のいかなる部分も、投資に関する助言、証券もしくは金融商品の販売の提案または購入の助言を意図するものではなく、そのように解釈されるべきでもありません。投資を行う前に必ず適切な専門家による助言を受けてください。